

## パブリックコメントの結果

「中山町立小学校・中学校の将来を展望した学校のあり方について」答申（素案）についてパブリックコメントを実施し、以下のとおり回答しました。

### 1 意見募集期間

令和7年12月15日（月）から令和7年12月31日（水）まで

### 2 ご意見の内容、回答

	ご意見の内容	回答
1	<ul style="list-style-type: none"><li>・答申の内容（1）1について 小中一貫教育が求められている背景として、「学習・生活面において、小中学校の指導方針の違いを防ぎ、一貫した指導体制の構築が可能」といった文言があってもいいかと思います。現在、町内の小中学校では一貫していない点もあり、困惑する中学生もいるとの声があります。こうした現状が小中一貫教育により改善されるということを明記したほうがいいと考えます。</li><li>・義務教育学校のメリットについて 義務教育学校のメリットについて、「地元の歴史・文化伝統に触れる機会を数多く設け、地域の方々から学び、『地域とともにある学校』を創っていくことができる。」といった内容もあれば良いと思います。9年間、学年に応じた地域学習でこれまで以上に地元のことを深く知ることが可能になるはずです。また、学校が1つになることで不安を感じる町民にとっても、こうしたメリットを知ることで安心感が生まれ理解が進むと考えられます。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・答申の内容（1）1について 将来構想検討委員会では、検討委員会答申（素案）の4ページ5行目からあります、「『小中一貫教育』とは、小・中学校で「目指す子ども像」を共有し9年間を通じた教育課程を編成して、系統的な教育を目指すものであります」の内容に包括されていると捉えており、答申に加筆しないこととしたしました。ご理解いただければと思います。</li><li>・義務教育学校のメリットについて 現在、町立小中学校では、地元の歴史・文化伝統に触れる機会を数多く設け、地域の方々から学び、「地域とともにある学校」を進めているところであります。 義務教育学校のメリットとして強調するのではなく、これからも継続して取り組んでいくことと捉えており、答申には加筆しないこととしたしました。ご理解いただければと思います。</li></ul>